

第三者評価結果概要版（通所介護【デイサービス】）



○基本情報

法人名	社会福祉法人賛育会
事業所名	東京清風園高齢者在宅サービスセンター
所在地	墨田区立花1丁目25番12号
連絡先	03-6861-8771

○事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）

- 1) わたしたちは提供するすべてのサービスをキリスト教の隣人愛をもって行い、利用者一人ひとりの願い・思いを大切に、満足感のあるサービスの実現とサービスの質の向上に絶えず努めます。
- 2) わたしたちは、地域の福祉力の向上と安心・安全の満ちた地域社会の建設のため、わたしたちを必要とする人々の働きを通して地域の住民・団体・福祉医療施設との協同を進め、その中核的な役割を担うよう努めます。
- 3) わたしたちは、すべての働きの基本は働く者の資質の向上にあると認識し、教育研修の充実強化に努めます。
- 4) わたしたちは、公益性を持つ団体として社会的ルールや関係法令の遵守、環境への配慮、情報の公開、個人情報の保護に努めます。
- 5) わたしたちは、将来とも責任を持って働きが継続できるよう、財政基盤の安定強化に努めます。

○全体の評価講評（特に良いと思う点）

【連絡ノートを情報共有のツールとして、家族と良好な関係性を築きながら、利用者の一日を共に支えていけるよう取り組んでいます】

利用者、家族との情報共有のツールとして、利用者全員に連絡ノートを渡しています。連絡ノートには、事業所からの連絡事項、バイタル、入浴の可否、食事量、排泄、午前・午後の活動と一日の利用者の様子を家族に伝えています。家族からは自宅での様子や要望等を記載しています。利用者の状況を双方で把握し、良好な関係性を築きながら、利用者を支えていくことに注力しています。また、今年度は忘年会の行事に家族を招待し、数名の家族が参加くださり利用者と一緒に楽しみました。実際に活動を見ていただくことで理解を得られるよう取り組んでいます

【自己啓発の機会を多くつくとともに、雇用形態を問わず半日研修を実施しています】

職員研修委員会が組織されて各種研修の企画・実施を行っており、法人研修への参加、事業所内研修の開催、外部研修の受講など、自己啓発の機会を多くつくっています。また、常勤・非常勤・派遣職員と雇用形態を問わず、新入職員に対しては時期を決めて入職時研修を実施しています。権利擁護・身体拘束廃止の指針について、認知症ケアの理解、防災の基礎知識・設備理解と訓練、感染症の理解・予防・まん延防止対策、救急法・心肺蘇生などのテーマを半日かけて研修しており、サービス提供水準を向上するように努めています。

【「興味、関心チェックシート」に利用者記載の個別ニーズから機能訓練計画書を作成し実施3ヶ月毎の振り返りも行っています】

利用者個々の「興味、関心チェックシート」に生活行為、している、してみたい、興味等を記載してもらい個別のニーズを把握し、心身の状況と共に機能訓練計画書を作成し実施しています。3ヶ月毎に在宅でのADLの振り返りを行い関節可動域、筋力、バランス能力等の計測や車いす、歩行器の使用状況等と心身の状態、レベルの変化や現状訓練への希望や不満を把握しています。これらを踏まえ評価と見直しをして機能訓練計画書の変更を行い、ニーズに合った訓練を実施することによりADL強化の成果に繋がっています。

○全体の評価講評（さらなる改善が望まれる点）

【日々の活動プログラムのレパトリーを増やし利用者自身がやりたい事を選択し生き生き過ごせるよう全職員での検討が望まれます】

利用者の日々の活動はリハビリ要素を取り入れた集団で行われる体操やレクリエーションを行っていますが、レパトリーは少なく今回の利用者調査でもこの項目は良い評価は得られませんでした。デイサービスでも課題と捉え、同法人の他施設見学等で学び改善にむすびつきたいと考えています。集団プログラムや個別プログラムは利用者の希望も取り入れ、利用者自身が選択できるよう複数用意すること等、全職員が課題に取り組み利用者の主体性や自立性を大切に生き生き楽しく過ごせるよう検討することが望まれます。

【職員採用の安定化や地域づくりの核となるような取り組みを継続して進めていくことが期待されます】

事業所では平成22年度に現在地へ定員増をとまなう移転新築して以来、内部の運営体制の確立に重点的に取り組んできました。現在でも、職員採用の安定化は課題であり、中途採用者の募集など工夫を進めています。また、地域交流や地域貢献など外部的な活動成果も上がるようになってきていますが、今後、地域づくりの核となれるよう職員全員の意識を高め、職員によるボランティア活動などを盛んにしていくことができるような取り組みも必要といえます。こうした取り組みを継続的に進めて成果につなげていくことが期待されます。

【利用者の状態や活動中の様子を把握するために必要となる記録を積み重ねていくことが期待されます】

利用者に関する様々な情報やサービス提供内容はアセスメント表、興味・関心チェックシート、通所介護計画書に記されており、「ほうれんそう（報告、連絡、相談）」連絡ノートには利用者に状態等、なんでも記載して職員間で情報共有しています。利用者個々の取り組み状況については介護ソフト内に記録しており、毎月モニタリングも実施していますが、利用者の状態を把握するための情報量は十分とは言えない現状にあります。どのような記録が必要となるかを職員間で検討し、有効な情報を積み重ねていくことが期待されます。

○利用者調査結果

有効回答者数	54人
利用者総数	95人

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	68.0%	14.0%	7.0%	9.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	74.0%	18.0%	いはい:3.0%	無回答・非該当:3.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	88.0%	5.0%	いはい:1.0%	無回答・非該当:3.0%
4. 利用中の楽しい行事や活動があるか	50.0%	25.0%	11.0%	12.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動(リハビリは、家での生活に役立つ)	64.0%	14.0%	9.0%	11.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	92.0%	どちらともいえない:3.0%	いはい:1.0%	無回答・非該当:1.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	87.0%	11.0%	いはい:0.0%	無回答・非該当:1.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	74.0%	11.0%	12.0%	いはい:1.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	55.0%	27.0%	14.0%	いはい:1.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	87.0%	7.0%	いはい:3.0%	無回答・非該当:1.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	79.0%	14.0%	5.0%	いはい:0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	74.0%	14.0%	7.0%	いはい:3.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	87.0%	11.0%	いはい:1.0%	無回答・非該当:0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	72.0%	20.0%	5.0%	いはい:1.0%
15. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	57.0%	24.0%	7.0%	11.0%